

南陽図書館つうしん 2022 春号

〒455-0857 名古屋市港区秋葉一丁目 130-79

TEL:052-301-2116 Fax:052-301-2117

休館日:毎週月曜日(祝日の場合は開館し、直後の平日を休館)

第3金曜日(祝日の場合は開館) 年末年始(12/29-1/4)

特別整理期間【令和4年度 6月13日(月)~17日(金)】

名古屋市図書館ホームページ:<https://www.library.city.nagoya.jp>

南陽図書館Twitter @nagoya_nanyolib

街の風景

はじめて南陽地域に来たのは今から三十年前、アルバイトだった。地下鉄の高畑駅からバスに揺られながら見た景色は、行けども行けども田んぼばかりだったと記憶している。

四年前、南陽図書館に異動になり、久しぶりにこの地を訪れた。初めて訪れた二十数年前と比べて、多くの家や色々な店が建ち並んでいたことに驚いた。しかし、それでも中心街のような狭さは感じなかった。むしろ「名古屋市内にもこんな空が広いところがあったのか」と、感動すらしていた。

そして現在、この地にはさらに色々な建物ができつつある。スーパーやドラッグストアなども増えた。「街が育っている」という感覚すらある。

今から五年後、十年後には、はたしてこの街はどうなっているだろうか。今から楽しみである。(篠田)



おすすめ
します!

新しく入った本の紹介



名古屋弁トキントキン講座 どえりゃーおもしろーでかんわ

舟橋武志/著 風媒社 (A85)

名古屋にお住まいのあなたは、この本で紹介されている名古屋弁をどれくらい知ってみえるでしょうか?

「たわけ」「ござる」などの有名な言葉から、「ひーくれはらへれ」など、こんな言葉があったの?という言葉まで、会話形式の文章もたくさん載っています。この本を読むと、名古屋弁を使ってみたくくなります。レトロな雰囲気のあるあずき色の表紙もポイント!



懐かしくて新しい「銭湯学」 お風呂屋さんを愉しむとおき案内

町田忍/監修 メイツユニバーサルコンテンツ (383)

「銭湯」と聞いて懐かしさを感じる方もいれば、「行ったことないよ」という方もおいででしょう。商売としての銭湯の登場は、平安時代末期の記録まで遡ることができるそうです。銭湯建築やペンキ絵、各地の銭湯など、絵や写真を眺めているだけでも楽しいですが、この本を読むと銭湯へ行きたくなります!



世界「失敗」製品図鑑 「攻めた失敗」20例でわかる成功への近道

荒木博行/著 日経 BP(675)

世界中の「失敗した」製品・サービスから20例を選んで、なぜ失敗したのか、原因や教訓が解説されている本です。「最初のシナリオを修正できず失敗」したり、「反対意見が言いにくい空気に気づけず失敗」したり、と仕事をしていく上でヒントになる失敗話が詰まっています。自らの失敗から学べることは自分の経験の範囲に限られますが、他者(社)の失敗から学べることはたくさんあるとわかる本です。



★南陽図書館からのお知らせ★

行事のお知らせ

・しゃぼんだま 春のウキウキおはなし会

日時：3月26日(土)

①午前10時30分～10時50分

②午前11時 10分～11時30分

*①と②で紹介する絵本や紙芝居は異なります。

対象：乳幼児～小学校低学年

定員：各回4組(最大10名)

申込：3月12日(土)午前9時30分～ 来館または電話(先着順)

*詳しくは、チラシや図書館ホームページをご覧ください。

このおはなし会は、事前の申込が必要です。

新型コロナウイルス感染症の状況により、日程の変更や開催を中止することがあります。

行事実施のご報告

12月11日(土)に「ミニ・ビブリオバトル」を今年も無観客で開催しました。南陽高校文芸読書部と南陽中学2年生の皆さんが熱いバトルを繰り広げた結果、今回はチャンプ本が3冊となりました！



1月22日(土)には、「フェアトレードって知ってる？ フェアトレードの布で缶バッジを作ろう！～」を開催しました。南陽高校 Nanyo Company 部の皆さんが講師となり、紙芝居で「フェアトレード」について学んだ後に缶バッジ作りを体験しました。

納屋橋まんじゅう

新年1月10日、大須商店街には早朝から100人を超える行列ができていた。工場の老朽化により休業となる「納屋橋まんじゅう」の販売最終日だった。この名古屋土産の歴史は古い。

『名古屋広小路ものがたり』(沢井鈴一著 堀川文化を伝える会)によると、明治19年三重県桑名市の出身で米運搬の船頭をしていた三輪伊三郎が、納屋橋のたもとに「伊勢屋」を創業、饅頭を売り始めた。当初は小さな商いであったが、饅頭の名を「納屋橋饅頭」にしたのち、次第に繁盛する。

また、大正2年、新しい納屋橋が完成し、一家が渡り始めの栄誉をあずかったことを機に屋号もあらためたとのこと。

酒麴に餅米を合わせ、2日間熟成させて酒種を作る。そこに小麦粉を加えて発酵させた生地、こし餡を包むという手間暇かけた製法である。

子供の頃、母が土産に買ってきてくれるのが嬉しかった。「すぐ固くなっちゃうね」と石油ストーブの上で焼くと、また美味しかった。

自分の子供も大好きで一緒によく食べたな・・・思い出と共に名物はある。いつでも食べられると思っていたのに、本当に寂しい。(梅村)



南陽図書館 Twitterやってます！

南陽図書館ツイッターは、この3月で開設1周年を迎えました。行事・展示などの告知、おすすめ本の紹介から、何気ない日常まで、色々なことをつづやっています。ぜひ、フォローお願いします！



@nagoya_nanyolib